



# 自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

## 海上自衛隊研修について

新島学園高等学校 教諭 須川 裕



護衛艦「いずも」の前で教員と集合写真



護衛艦「いずも」での投稿者 須川教諭



潜水救難母艦「ちよだ」にて集合写真

令和6年7月1日(月)から同年7月2日(火)、「進路担当教諭に対する海上自衛隊研修」に群馬地方協力本部高崎地域事務所の広報官と参加いたしました。

本校では、令和6年3月上旬に高校2年生が自衛隊のインターシップに参加させて頂きました。本校では、自衛隊説明会を実施しているため、生徒の進路指導の参考として参加させて頂きました。

1日目の研修では、施設や短艇の陸揚げ訓練などの見学、新人の隊員との懇談などをし、座学だけではなく、規律やチームワーク、責任感を培うことに多くの時間が割かれているという印象をうけました。また自由時間にスマートフォンの使用が許可されているなど、時代の変化にも柔軟に対応していると感じました。2日目は、艦艇部隊の見学及び港内クルーズ(横須賀港内)で軍港を巡り、海上自衛隊の潜水艦やイージス艦、護衛艦「いずも」がありました。またアメリカ海軍の船舶などが停泊しているため、写真撮影が一部制限されるなど横須賀が軍港であることを感じさせられるひとときでした。その後、潜水艦救難母艦「ちよだ」に乗艦し、装備の説明、隊員との懇談や体験喫食などから、隊員の日常生活の一端に触れることができました。二日間とも、それぞれの訪問先で若い隊員との懇談の場が用意されており、入隊の動機や訓練の様子、自由時間、休日の過ごし方などを、多くの隊員から直接聴くことができ、たいへん貴重な機会でした。

今回の研修での経験を自衛官を目指す生徒の進路指導の参考にしたいと考えております。

最後にこの機会を与えていただいた群馬地方協力本部高崎所の広報官をはじめ、企画していただいた、海上幕僚監部人事計画課の多くの方々によってこの海上自衛隊研修が有意義なものとなったこと、この場をお借りして御礼申し上げます。



横須賀教育隊：新人隊員との懇談



潜水救難母艦「ちよだ」にて体験喫食



潜水救難母艦「ちよだ」部隊隊員との懇談